

中部産業株式会社 環境行動計画

取 組 方 針

中部産業株式会社は、人間が自然と共生し地域の良好な環境を将来の世代へ引き継ぐため、上下水道工事、設備管工事などの事業活動が地球環境へ影響を与えていることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら、以下の環境保全活動を社員一丸となって推進いたします。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 工務部門、営業部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社に周知します。

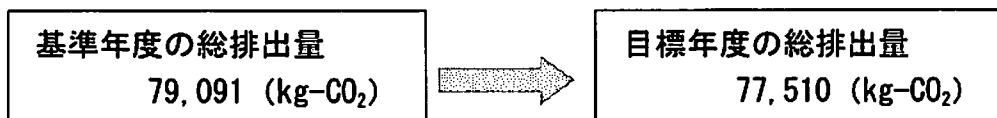
平成27年2月23日

中部産業株式会社
代表取締役社長 吉田 雅人

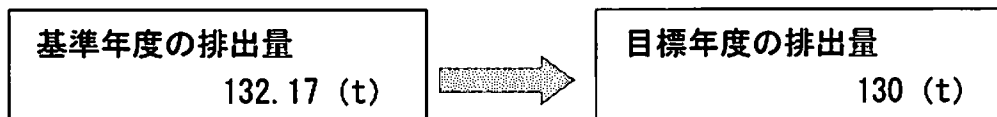
3. 環境負荷の低減目標

28年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも26年度です。)

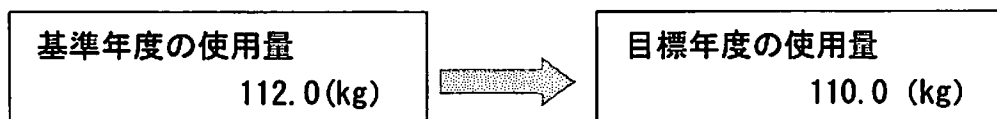
【目標1】二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



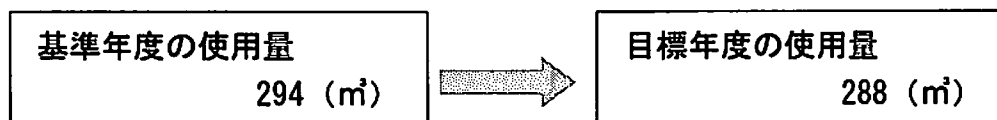
【目標2】産業廃棄物の排出量を2%削減する。(一般廃棄物の排出量を含む)



【目標3】コピー用紙使用量を2%削減する。



【目標4】水使用量を2%削減する。



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】二酸化炭素総排出量の削減

(事務所での取組)

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ③ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ④ エアコンを使用する時はサーキュレーター等を併用し空気を循環させる。

(車両での取組)

- ① アイドリングストップを徹底する。
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル)
- ④ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
- ⑤ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。
- ⑥ 車両内の整理整頓を行い、使用しない機材は載せない。

【取組2】廃棄物排出量の削減

- ① シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- ② ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ③ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。
- ④ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑤ 紙のリサイクルに努める。

【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ④ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ⑤ 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ⑥ 会議資料等の削減に努める。(資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー)
- ⑦ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。

【取組4】水の使用量の削減

- ① 水道管からの漏水を定期的に点検する。
- ② 節水に努める。
- ③ 洗車するときは、水を流しっぱなしにしないようにする。
- ④ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する。
- ⑤ 洗車用ホースに手元コックを取り付ける。
- ⑥ 水道蛇口に節水こまを取り付ける。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、社長(環境管理責任者)を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。